



大木 俊二 議員

新田地区多目的 広場の設置は

町長 早期実現に向け 取り組む

問 新田地区多目的広場の完成
予定は。

答 地域コミュニティの場、及び地域活性化の拠点として最も重要な施設であると考えています。そのため、利用者の利便性を優先的に考え、具体的な場所の選定や用地の確保につきましても十分に検討を重ね、多目的広場の整備に早期に実現できるように取り組んでまいります。

問 ふるさと納税の進捗状況は。

答 本年11月時点で昨年の2倍以上の寄付を頂いておりますが、12月以降は昨年ほどの寄付は見込まれない状況であります。12月を過ぎませんと寄付金の見込み額は分かりませんが、現在の予算額（13億3700万円）以上は確保したいと考えています。

問 返礼品の地元産品の基準は。

答 総務省は地場産品について、「地方団体の区域内で生産されたものや提供されるサービスとすることが適切である」との見解を示しています。

本町では、「原材料の産地」「加工場の場所」「販売店の所在地」の三要素の内、二要素が町内にあれば地場産品と位置づけ、返礼品として取り扱っているところであります。

問 小中学校給食費の補助は。

答 現在、本町では学校給食費の補助は行っておりません。しかし、地産地消による食育の観点から、町内で生産された米粉や小麦粉のほかサツマイモやズッキーニ等の農産物を食材として使用する際、材料費の一部補助を行っています。

来年度からは、公立小中学校に在籍する第3子以上の子供を対象とした補助を実施したいと考えています。



おいしい学校給食

問 給付型の奨学金制度は。

答 本町では貸与型奨学金として実施していますが、今のところ給付型奨学金の実施は考えていません。

しかし、経済的理由により修学の機会や志が断たれる事が無いよう、国、県の奨学金制度の動向や給付型奨学金を実施している自治体を参考にしながら研究を継続してまいります。



完成が待たれる新田多目的広場



三浦千尋 議員

フットボールセンター建設の進捗は

町長 来年度末に向かつて順調

問 フットボールセンター事業がスタート。本施設周辺は町のゲートウェイとすることが初期の目的。事業を通して人口減少率の削減に挑戦し、町の活性化に資することが求められる。建設終了後の催事計画はあるのか伺う。

答 事業は順調に推移。センターオープン時は町政誕生60周年と重なる。内容は検討中です。

問 オープン後は平日の昼間利用が課題である。

答 センター北側エリアの開発と絡めて対応を考えている。

問 町民は元より広く県内外への告知が急がれる。考えを伺う。

答 コミュニティFMやケーブルTV等併用しながら情報提供に努力する。

問 本事業と町内還流対策として具体的な方策はあるか伺う。

答 この件は大切であり、計画検討中である。

問 上新田地域や町内の定住対策で宅地確保が欠かせない。



未来のJリーガー誕生か

答 上新田小跡地は住宅用地が望ましいと考えるが伺う。

答 跡地検討委員会で様々な意見があり、宅地や人が寄る場所、施設等々意見を聞いた。これからは行政側からプランを一年内に示したい。定住対策は現制度を見直し、空き家対策の活用にはシフトしたい。

問 スマートインターチェンジ設置は、フットボールセンターや大災害時の基地との連携、生命の道路としても不可欠。町の西の玄関として将来本町振興に必須インフラだ。この時期佳境に入っていると考える。

答 国、ネクスコへはことあるごとにお願ひしており、理解を得ている。引き続き議会と共に国、県、関係機関等と協議・要望等を重ねる。

問 緊急時の基地使用が示された。町の安心安全への最低条件は情報の共有で。事前協議と説



若者定住の起爆剤に

明は極めて重要だ。優先すべき課題を伺う。

答 先ずは安心安全で協定書の遵守と未解決案件が軸足と考える。機を逃さず対応したい。

問 十年後の町の姿として、スポーツランド等、若い人たちの往来と定住を目指すべきではないか。

答 スポーツを通じて町づくりを行い、心を動かす町へと検討中です。

行政調査

総務産業常任委員会報告

委員会では平成30年10月17日から19日の日程で行政視察を行いました。

各課の連携が重要

現在、本町でも取り組んでいる空き家対策について研修するため、大分県の日田市に伺いました。日田市でも、人口減少と共に空き家が増加しており、行政としては環境部門や建築部門、移住関連部門の3つの部所が連携を執りながら進められています。また、民間などとも連携しながら総合的に対策を講じています。



早急な空き家バンクの設置を

本町も、237戸の空き家が確認されており、各課が連携し政策的な空き家の利活用や移住促進を進めていく必要があります。

本町では、空き家対策条例のつとり危険空き家などの解消に努めています。また、空き家バンクについても今準備しているところです。政策的に空き家の利活用の為に、移住促進への町外アピールを目的とし、補助制度とセットで空き家バンクを早急に設立すべきであります。

住民の協力でごみを資源に

地域資源の有効活用に取り組んでいる、福岡県大木町を研修しました。特に注目すべきは、生ごみやし尿、浄化槽汚泥を地域資源とみなし、バイオマスプラントで発酵させ、バイオガスは発電に、消化液は田畑に還元し有機肥料として稲作・野菜作りに活用しています。有機肥料



徹底したごみの分別に感動

使用の農産物は、道の駅等で販売されており、地域内での循環型社会ができあがっています。

本町においても地球にやさしい循環型の町づくりやごみの資源化を目指し、クリーンな住環境を構築していく必要があります。

有事では「一つの判断ミスが致命的」

熊本県益城町では、平成28年4月14日と16日に震度7の地震に見舞われ、大きな被害を受けました。地震発生直後はライフラインの途絶や役場庁舎の損壊

による行政機関としての機能が麻痺し国、県、各組織との連携がとれず対応の遅れから、町民から多くの苦情が寄せられました。有事では「一つの判断ミスが致命的」になります。

本町も南海トラフ地震等による大規模災害が懸念されており、行政機関の機能マヒなどが予想され、災害時に向けた官民一体となった対策が必要です。

益城町では、議員も地震直後から行政と共に被災状況の把握に努め住民に寄り添った支援を行っており、本町議会も有事時の行動をもう一度考えるべきであります。



「住み続けたい街」
「次世代に継承したい街」

基地対策特別委員会報告

防音工事の進捗状況は、予算増額し早期実現向け、町長と委員会全員で本省に要望しました。緊急時の基地使用の内容は各区長にも説明が行われました。執行部と一丸となり委員会活動を行いました。

白紙撤回申し入れ後の防音工事進捗

- ① 白紙撤回の申し入れ
○ H28年11月コンタ―見直しを受け、同12月申し入れたがH29年5月1日白紙撤回となる。

② 議会の行動

- 執行部と統一行動が必要とし、町長帶動を申し入れる。

- H30年7月10日、町長・議長・基地対策特別委員会合同で九州防衛局、本省地協一局及び関係部局訪問。

③ 国の対応

- 現在の待機者早期解決の為、

関連予算の大幅増。
H29年度 15億円
H30年度 19・5億円

防音工事の進捗

★住宅防音工事の交付申込書の配布状況

新田原飛行場

○ 本体工事

平成29年10月中旬受付分までで待機3年9カ月が6月に短縮

○ 空調復旧工事

平成28年12月下旬受付分までで待機1年6カ月が1年3カ月へ

○ 建具復旧工事

平成26年2月上旬受付分までで待機3年10カ月が4年1カ月へ

平成30年度主な要望

- ① 防音工事・機能復旧・空調機取替えのスピード化

- ② 米軍再編移転訓練交付金の額の確保 実績・H29年度は3億5千万円でH30年度は1億7千万円でした。

- ③ 基地交付金、調整交付金、障害防止、民生安定事業等補助金の額の確保と増額

- ④ 町の進める事業への支援

入札に関する継続要望（熊本支局）

※町内活性化と地場産業育成のため（H30年9月3日実施）
■地域総合評価落札方式の中の地域貢献度の見直しと周知徹底を求める。

■熊本支局により商工会・各企業等へ内容の周知の為の説明会開催の申し入れを受ける。併せて電子入札のみとした入札方法に加え、従来の文書入札も可能となった。

今後の取り組むべき課題

- ① 基地交付金の増額対策



山本防衛副大臣に町長と委員長が要望書提出

- ② 再編交付金の額の確保と制度の見直し
※平成31年度予算案は事項要求に止まっている。徹底した国への要望攻勢が急務と認識。

- ③ 告示後住宅対策と地上騒音及び住宅防音の格上げと区域拡大
※告示後住宅2200軒の早期防音工事による定住増対策と憲法25条の権利を求めるもの。

議会報告会

平成30年11月16日、新富町総合交流センターにて議会報告会を開催し、約70名の方にお越しいただきました。様々な意見や要望、質問が出されました。これを受け議会としても今後の活動につなげてまいります。

一般行政

問 なぜ東京文京区を選んだか、規模が違いすぎるではないか。

答 選定理由は、給付型奨学金のやり方、貧困家庭での脱却方法、高齢者支援の先進地視察を目的としたので、関東周辺を選択、奨学金制度も一番進んでいる所を見るほうが参考になると判断し選定した。

問 新富町まちづくり事業の土地買取価格は高過ぎるのではないか。

答 防衛省の買い上げ価格等を参考に、不動産鑑定家の専門家から提出したものが価格の根拠となっており、議会としては判定価格を尊重した。

問 鬼付女川の上流、宮の首地区の一部の河川改修されず困っている。防衛省の責任で、改修工事を行うべきではないか。

答 県道や河川の改修等は、県が窓口となっており早急な改善・改修を県が実施するよう求めている。

基地関係

問 弾薬庫設置はなぜ必要なのか、町民の安心・安全は守られるのか。

答 弾薬庫について国は、緊急時に使用するための施設であり、有事の時以外は使わない、米軍の基地化はしないと言っているので、建設に当たっては国内法

を厳守し安全・安心が図られるよう求めたい。

問 告示後住宅の取り組みを早めることはできないのか。

答 告示後住宅の状況は、現在進めている防音工事が完了してから検討すると防衛省は言っている。防音工事の待機世帯が200軒以上あり、2年以内の完了を求めて、早急に次の告示後住宅に着手できるよう防衛省に働きかけていきたい。

問 NHK受信料は、半額と聞いているが、半額になっていない。町民の負担が大きい。基地交付金で全額支払ったらどうか。

答 NHK受信料は、本町議会や全国6基地協議会においても騒音の激しい町には、配慮してほしい旨強く要望活動を行っている。個別受信料は、防音工事の進捗状況や支払い方法が異なる為、詳細の金額は把握していない、補助を継続するよう国の政策転換を求めている。

その他の質問

問 町内の傾斜地で樹木伐採が行われているが危険ではないか。

答 危険だと判断している。今後このような事態にならないよう町が規制できる条例制定に努力中である。



住民の意見を今後の議員活動に活かす

12 月 定 例 議 会 議 案 及 び 議 決 結 果

議 案	議決日	賛 成	反 対
平成30年度新富町一般会計補正予算（第9回）	12月14日	13	0
平成30年度新富町国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	〃	13	0
平成30年度新富町介護保険特別会計補正予算(第3回)	〃	13	0
平成30年度新富町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）	〃	13	0
平成30年度西都児湯情報公開・個人情報保護審査会特別会計補正予算（第1回）	〃	13	0
新富町使用料条例の一部を改正する条例	〃	13	0
土地の取得について	12月7日	12	1
土地の取得について	〃	12	1
土地の取得について	〃	12	1
公の施設の指定管理者の指定について(富田浜入江遊漁船係留場)	報 告		
介護従事者を確保するために実効性のある対策を講じることを求める意見書	12月14日		
平成30年度新富町一般会計補正予算（第10回）	〃	13	0
新富町議会議員の議員報酬及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例	〃	6	7
新富町議会議員条例の一部を改正する条例	〃	13	0

臨 時 議 会 議 案 及 び 議 決 結 果

議 案	議決日	賛 成	反 対
(専決処分)平成30年度新富町一般会計補正予算（第6回）	10月25日	13	0
平成30年度新富町一般会計補正予算（第7回）	〃	13	0
物品売買契約の締結について（平成30年度新田原飛行場関連再編関連特別事業 富田給食共同調理場 給食配送車購入）	〃	13	0
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	11月20日	13	0
町長、副町長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	〃	13	0
新富町議会議員の議員報酬及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例	〃	13	0
平成30年度新富町一般会計補正予算（第8回）	〃	13	0
平成30年度新富町国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	〃	13	0
平成30年度新富町介護保険特別会計補正予算(第2回)	〃	13	0
新富町土地開発公社の解散について	〃	13	0
新富町議会議員の議員報酬及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例	1月7日	11	2

カ・メ・ラ・探・訪



これで「ソバ」がでくっと



スイート
スプリング



久しぶりやね。
元氣やったイエーイ



シンビジウム

▲花言葉
飾らない心、
誠実な愛情、
素朴、野心、
気取らない心



大勢の人でにぎわった
「ふれあい福祉バザー」



三納代八幡神社の子ども神楽

町民の声

最近、近所に小奇麗な2階建てのアパートが建った。聞けば、インドネシア人用の物で、近くの食品加工場での雇用対策との事。そういえば、中国の人達の自転車に乗る姿は随分前から往来で目にしていると改めて思い至った。「少子高齢化」という言葉を使って一部の社会学者が将来の日本に警鐘を鳴らしてから、相当な時を経たが、気が付けば小さい私達の町にも押し寄せていたのだ。言語、文化は異なっている、そこにお互い人間同士「袖振り合うも・」ではないが仲良くしたいものだ。「その国に好きな人一人できたら、好きな国になる」こうなれたらこれはもう立派な「平和外交」である。

新田 60歳代男性

編集後記

平成30年の漢字一文字は「災」でした。本町も台風で甚大な被害と成りました。今年は災害が起こらないことを願います。

私の漢字一文字は「変」です。2月に町長が変わり、8月には役場内の機構改革により課名及び課の業務が一部変更となりました。また議会でも議員定数削減により12名に変わります。4月には統一地方選挙があります。若い世代や女性の立候補に期待します。

正章

議会広報特別委員会

委員長 永友 正章
副委員長 大木 俊二
委員 吉田 貴行
" " " 丹 邦 敏
" " " 阿 萬 誠 郎

※連絡先 議会事務局

TEL 33-6139